

令和6年度補正予算における対マリ開発協力8案件に関する記者会見

4月9日（水）、国連マリ事務所にて、村田優久夫駐マリ日本国大使が記者会見を開催し、令和6年度補正予算において日本がUNDP、ILO、WFP、FAO、UNHCR、IOM、ICRCがマリの安定と発展のために実施する8案件に資金を拠出することを発表しました。

総額1,065万米ドルの本件は、日本の多国間協力の一環です。本式典には、各国国際機関から代表者が出席しました。

本件の資金供与を通し、日本はマリの国民の保護、社会経済発展、平和と安定の強化に貢献したいと思っています。

